

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3891300109
法人名	有限会社 ケアサービス菜の花
事業所名	グループホーム 菜の花
所在地	四国中央市中之庄町60番1
自己評価作成日	平成27年1月31日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成27年2月16日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

いつでも来訪しやすい雰囲気作りを心がけ、挨拶にも非常に力を入れて、全職員の気持ちの良い挨拶を常に心がけています。明るく清潔な施設になっており、同敷地内にあるデイサービスとの交流も多く、人の出入りも自由で、家族さんやボランティア等、来訪者も多く入所者も面会を楽しみに過ごされています。又、一日の職員数の配置を多くしながら入所者一人一人との関わりが多く持てるよう対応を行い、その人に合った楽しみが持てる施設となっています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

毎朝、職員が居室も掃除を行い、個々の担当者が利用者とは相談しながら整理整頓を行っている。カレンダーと時計は事業所で準備しており、カレンダーに補聴器の電池交換日を書き込んでいる方があった。又、全居室に温度計を設置して、職員が温度管理をしている。電気カミソリを充電し自分で髭剃りする方や、化粧水を持ち込み、入浴後にご自分でケアする方がある。夕食後は、ホットカーベットを点け温かくしてテレビを楽しむ方や、ベッドに横になってテレビを見ながら寝る方もいる。妻の写真を飾り、命日が近づくと写真の前にお供えする方には、命日の日が近くなると、職員がそっとお伝えしている。居室のほとんどのベッドに立ち上がりやすいように、可動式の手すりを取り付けられていた。  
併設デイサービスの看護師の訪問が週3回あり、バイタルチェックをしたり健康管理のアドバイスがある。90歳半ばの利用者が肺炎で入院した際には、ご家族とも相談して早期退院できるよう支援して、現在は、自力で歩くまでに回復されている。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. <b>利用者の1/3くらい</b> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		1. ほぼ全ての家族と 2. <b>家族の2/3くらい</b> 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
				1. <b>ほぼ毎日のように</b> 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
				1. 大いに増えている 2. <b>少しずつ増えている</b> 3. あまり増えていない 4. 全くいない
				1. <b>ほぼ全ての職員が</b> 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
				1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
				1. <b>ほぼ全ての家族等が</b> 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 菜の花

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)

氏名

合田 陽子

評価完了日

27 年 1 月 31 日

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)  会議や会話の中で、会社の理念に基づき判断、行動するように話し合っている。	
			(外部評価)  開設時に、法人代表が「地域の中でその人らしく安心して暮らせる」と、理念をつくっている。月1回のミーティング時等には、日頃のケアを振り返り、理念に基づいたケアが実践できているか話し合っている。今年一月に交代した新しい管理者は、「利用者が地域とつながりを持って生活できるよう支援していきたい」と話していた。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)  近隣スーパー利用時の交流や地域の学生との交流、ボランティアの来所、民生員さんやふれあい相談員との交流、デイサービスとの交流を行い親交を深めている。	
			(外部評価)  買い物は、日常的に近くのスーパーを利用している。又、利用者によっては、近所の理髪店を利用できるよう支援している。運営推進会議時に民生委員から敬老会の誘いがあり、地元からの利用者が希望者は出席できるよう支援した。近くにある専門学校生がゲームやクイズ等を準備して、週1回程度訪問してくれている。利用者は、以前、併設デイサービスを利用していた方が多く、又、地域の方達が通って来られる場でもあるため、個々に週1～3日程度デイで過ごせるようお連れしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)  各家族さんへは、毎月の取り組み状況の報告や、入居者と一緒に過ごす機会を設ける等し、認知症への理解を深めていただいている。又地域の行事へのお誘いがあれば参加し交流や理解を頂けるよう努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>毎月の活動状況の報告を行い、援助についての意見や評価を頂き今後の援助サービスが向上できる様心懸けています。入所者全員との食事会やおやつの時間を利用したりと工夫しながら有意義な会議となる様努力している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加して頂き意見を頂いたり又、市町村が主催する認知症研修にも参加し援助に結び着けている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>日中はいつも玄関の施錠は常に行わず、夜間の防犯目的の施錠のみ行っている。身体拘束につながるケアは行っていない。</p>	
			(外部評価)	
			<p>職員は、内・外部研修で身体拘束について学んでいる。日中は、玄関に施錠はせず、出入りの度に音が鳴るようになっていて、入居前、畳に布団の生活をしていただいていた利用者について、入居時、ご家族と話し合いベッドにしたところ、ベッド上に立つ行為が見られ、再度、ご家族と話し合っ、以前のよう畳を敷き対応した。さらに、立ち上がりやすいよう、移動式の手すりを設置された。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  職員間で情報の共有を図り、身体的拘束は勿論、言葉による虐待にも十分に注意をしている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  管理者及び職員は、成年後見制度や日常生活自立支援事業等、権利擁護に関する制度についての理解しており、必要な人にはそれらが利用できるよう支援している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約の際は、十分な時間を取って家族や利用者本人の不安や疑問点の解消に努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  面会に来られたご家族様や運営推進会議に参加されたご家族様から意見を伺っている。その他、利用者の誕生日会を開催しご家族様にも参加していただき、その際にも意見や要望を聞くなど行っている。  (外部評価)  ご家族の来訪は頻繁にあり、職員は、「何かご要望はないですか」と聞くようにしている。ご家族から依頼事があると職員は「申し送りノート」で共有している。利用者の誕生日会は、ご家族も一緒にお祝いできるようにお誘いしており、利用者はとて喜ばれるようだ。1月の運営推進会議に参加したご家族から「事業所の外出行事が少ないので、もっと外出行事を計画して皆で出かけて楽しんでもほしい」という要望があり、管理者は「外出行事をもっと計画していきたい」とお答えした。法人代表は、「開設5周年になる来年度は、家族会を行い、ご家族同士が交流できる機会をつくりたい」と話していた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的に行われる会議の際、職員の意見が聞けるよう全員に発言してもらうようにしている。又、日頃から報告連絡相談を徹底し、コミュニケーションを図るとともに話しやすい雰囲気作りを心がけている。 (外部評価) 月1回のミーティング時には、利用者のケアについて職員で意見を出し話し合ったり、テーマを決めて勉強会を行っている。外部研修にも積極的に参加しており、報告書を回覧して情報共有している。又、資格取得にも順番に挑戦している。職員は、月ごとに順番で行事を担当しており、手作り作品のアイデアや外出先の下見等を行い、提案して話し合っている。現在、職員からカラオケ機器の購入の希望があり、法人で検討されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 給与水準や職場環境など他の事業所に劣らない様考えている。、休憩時間、勤務時間、休暇等も法定に沿った対応となっており、毎月希望休も自由に出せ職員の希望に沿った出勤対応にしております、特に問題は無いと思っています。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部の研修案内が届いた際は必ず回覧している。研修にかかる費用等は事業所が負担しやすくしている。又、新人が入社した時は先輩から随時実践のアドバイスをうけられるよう勤務表を作成している。その他、勉強会において小規模な研修を行うなど職員の質の向上にも努めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 四国中央市グループホーム交流会に入会し他のグループホーム職員と交流し情報交換する事でサービスの質の向上を図っている。又管理者間で情報の交換を行う事もある。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 申込時に十分な時間を取り、生活歴や心身の状況、希望を聞くようにしている。不安なことはないか、入居後はどのような事を望まれているか、ゆっくり何うように気をつけている。又、他の入居者に紹介し早く打ち解けられるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居するまでに、本人や家族さんとの人間関係作りに時間をかけ話し合いを行っている。又今まで困っていた事や今後希望する事を聴き、今後の支援につなげている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	
			本人さんの入所が必要かどうかを面談や情報を収集し、受け入れが困難な場合には他のグループホームや他の介護サービスに繋がるよう助言や事業所の紹介を行っている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	
			入所者さんには常に人生の先輩であるという事を頭に入れながら関る様にしている。本人さんから学ぶ事も多く、感謝と尊敬の気持ちを込めて「ありがとうございます」の言葉は必ず言うように徹底している。	
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
			ご家族様の来訪時や誕生会のおりには、日頃の様子や職員の思いについて伝えたり、逆に何か困った事は無いかを話し合っている。又、近況報告を月に一度ご家族様に送り、日頃の報告をしている。入居時には、ご家族様の協力が必要であり共に本人を支えていきたいと、伝えるようにしている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	
			ご家族様に話を聞きながら、親しい隣人や友人、知人などへの声かけをお願いしている。	
			(外部評価)	
			近くのスーパー等で利用者の知り合いに会うことがあれば、職員は、遊びに来てもらえるよう声かけをしている。利用者の希望で、お墓参りに出かけることとなり、ご家族とともに、職員も同行して支援したようなケースがある。ご自宅のことが気になる利用者が複数いることから、職員は、今後、「個別に自宅訪問をしていきたい」と話していた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者の人間関係に注意しフロアの席や居室の場所に配慮することでトラブルを防止している。入居者の状態を観察し、必要に応じて会話などに介入し穏やかに生活が送れるよう支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 亡くなられ場合でも自宅に訪問させていただき入所時の懐かしいお話をさせて頂いたり家族さんとの交流が継続される場合もあります。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 毎日の会話の中で、本人の希望を知るよう努めている。入居時やご家族様の来訪時にも話を伺うようにしている。こんな物が食べたい、お知り合いの名前を呼ぶ、一度家に帰りたい等、普段の会話の中での言葉を職員間で情報交換し把握するよう常に努め、環境整備や物品購入、ご家族への電話等にて伝えながら一緒に支援の方法を考え実行している。	
			(外部評価) 現在、希望があれば表すことができる利用者が多く、ご本人の言葉や会話等は日々の個別記録に記入して共有しており、介護計画につなげて支援できるよう取り組まれている。さらに今後は、利用者の意思表示が難しくなったような場合でも、利用者のその人らしい暮らしを支え続けられるよう、アセスメントを工夫されてはどうだろうか。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前に、ご本人のこれまでの暮らし方や生活歴を本人様及びご家族様からできる範囲で聴いている。入居後も伺いたい事があれば、本人様には直接、又ご家族様には来訪時や電話にて話を聞いている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 入居者の生活パターンをしっかりと観察し、不穏になる時や場所などを知るようにしている。又、どのような声かけをすれば落ち着くのかいろいろと試してみて、良い方法があれば、職員間で情報を共有している。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	毎月の職員会議(ミーティング)で、各利用者さんへのケアの統一やケアの方法等について見直し検討を行っている。又入所者への担当者を決め本人や家族との連絡や、希望に対応できる様実践し、責任感のある援助を心懸けている。	
			(外部評価)		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	日々の様子を記録に残し、気づきがあれば職員間で報告、連絡、相談を行い情報を共有するように努めている。	
			(外部評価)		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	通院や買い物等に職員が付き添ったり、隣のデイサービスへ参加させてもらうなどし、支援やサービスに努めている。ご家族様との外出、外泊等も柔軟に対応している。	
			(外部評価)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	民生員、地域のボランティアセンター、地域の福祉学校の生徒、隣のデイサービスなどから来訪してもらったり、こちらから出向いたりするなどしている。地域のお祭りへの参加や、敬老会への参加、選挙投票など、ご本人様が希望される事は、できる限り叶えたいと考えている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 事業所の連携医療機関の他、ご家族の意向を聞き通院の介助を行っている。定期受診以外で、風邪などにより突発的に通院を要する時は、家族様に連絡を入れている。</p> <p>(外部評価) 定期的な受診は、職員が同行して支援している。定期受診以外は、ご家族にも協力をお願いしており、病状や状態を知ってもらう機会にもなっている。歯科は、訪問診療を利用できるよう支援している。併設デイサービスの看護師の訪問が週3回あり、バイタルチェックをしたり健康管理のアドバイスがある。90歳半ばの利用者が肺炎で入院した際には、ご家族とも相談して早期退院できるよう支援して、現在は、自力で歩くまでに回復されている。</p>	
31		<p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 隣接した施設の看護師と連携をとっており、迅速に対応できるようになっている。又、看護師からの意見や指示を記入する連絡ノートがあり、職員は必ず閲覧するようにしている。</p>	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 入院時にご家族様や医療機関と情報を共有し、退院に向けて連絡を取り合っている。</p>	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入居時にこちらの方針や対応可能な範囲について説明している。又、看護師にも協力を依頼している。</p> <p>(外部評価) 入居時に、ご家族の意向を確認しており、ほとんどのご家族が看取り支援まで希望されている。又、利用者は、「ここで一生暮らしたい」「故郷に帰りたい」等の思いや意向があるようだ。ご家族へは、事業所から、「口から食べることができなければグループホームでの生活は困難になる」ことを説明しており、全員が特養施設等へ申し込みをしているが、事業所では、「重度化対応・終末期ケア対応指針」を作成しており、職員は「看取り」の外部研修に参加する等して、少しずつ支援できるような体制作りをすすめている。</p>	<p>さらに、ご本人やご家族の思い・意向に沿った終末期や看取り支援の実践に向けて、地域の在宅医療体制等の環境整備について、運営推進会議等を活かして、事業所の現状や希望等を伝えながら関係者と話し合われてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) まず管理者への連絡を行うよう徹底している。又緊急対応のマニュアルを作り対応している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害時のマニュアルを作っている。又、年2回の避難訓練を実施している。避難訓練の際は地域の方々にも参加して頂く様声かけしている。又隣接する施設(デイサービス)の援助も受けれる体制である。	
			(外部評価) 年2回、消防署の協力を得て避難訓練を行っている。昨春、夜間の火事を想定して行った訓練時には、夜勤職員役の職員が利用者全員を誘導して玄関前まで避難させることに取り組まれた。消防署の方から、「火事等、災害時は近隣の協力が大切」とのアドバイスがあった。避難訓練時には、近くに住む民生委員の参加があり、「何かの時には、協力しますよ」と言ってくれている。法人内職員で緊急連絡網を作成している。備蓄は今後の取り組みになっている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 月1回の職員の研修会にて、プライバシー保護についての研修も行い徹底するよう努めている。	
			(外部評価) 利用者一人ひとりが持っている力を発揮できるよう、それぞれの出番や役割作りに努めている。昔、習字の先生をしていた利用者には、壁面飾りの文字を書いてもらっている。日めくり担当の利用者や新聞紙でゴミ袋を折ってくださる方、洗濯物を干したりたたんだり、又、食事作りの過程でも役割を作っている。「聞き慣れた呼び名を使ってほしい」というご本人やご家族の希望があり、「○○ちゃん」と呼んでいるようなケースがある。週に1回移動パン屋が来てくれており、利用者はお好きなパンを選ぶ楽しみな機会になっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 個人の希望や思いに耳を傾け、したい事・したくない事を主張してもらい、自己決定を優先している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 参加したくない行事には無理強要する事はなく、又どうしても参加していただけるか等皆で考え対応している。又、外出などを希望された場合も家族さんと連絡しながら時間を見つけ行けるよう努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) その日の服装など出来る限り自分で決めて頂き希望があれば一緒に服を選んだりしている。又、訪問散髪を利用しており、ご本人が希望されればサービスを受けています。その他、ご家族が美容室に連れて行かれたり、近所の美容院へ行ったりされる方もいます。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者一人ひとりの力を活かし、食事の準備や後片付けを一緒に行っている。今では自分の役割と張り切って家事をされるようになった方もおられる。職員は利用者と一緒に食事を楽しめるよう努めている。	
			(外部評価) 併設デイサービスの厨房で作った食事が届くようになっており、事業所で盛り付けるようになってい。ご飯と汁物、果物は、事業所で準備している。週1~2回は、朝食にご飯かパンを選べるようになってい。調査訪問日、職員も利用者の中にいり、利用者を見守りながら同じものを食べていた。利用者から、「自分専用の箸で食べたい」と希望があり、個別に箸が準備されていた。食後には、ご自分で下膳して、割烹着を着け食器洗いする方もおられた。お月見会のお団子づくり等、季節感のあるおやつ作りを利用者と一緒に楽しまれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事や水分の摂取量をチェックし脱水にならないよう心掛けている。午前・午後お茶やコーヒータイムによる水分補給も行っている。食事は各人に合わせた摂取しやすい形態など工夫している。又、体調管理する中で大切な情報の一つとして、摂取量の把握を行っている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを実施している。義歯装着者は週2回義歯洗浄剤を使用し清潔の保持に努めている。又、口腔ケア用品も週1回ハイター除菌を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄表や本人の様子を観察しながらトイレ誘導や声かけを行っている。	
			(外部評価) トイレは、職員が毎朝掃除しており、又、利用者の使用後は、排泄状態を確認して清潔を保つように心がけている。現在、ほとんどの方がご自分でトイレに行かれるが、利用者の状態によっては、職員が失禁の有無を確認したり、パット交換の手助けをする場合もある。トイレのドアノブには、「トイレ」と書かれた札がぶら下げてあった。男性用便器を備えているが、現在、利用する方はいない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 医師とも相談しながら、食べ物や飲み物などで便通が良くなるよう努めている。	
			(外部評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 日曜日以外は、毎日午前午後ともに入浴できる体制をとっている。ご本人さんの意向も聞きながら対応しているが、受診等による付添いもあり、職員の都合に合わせて頂いていることもある。	
			(外部評価) 現在は、入浴することを好まない利用者が多く、職員は、タイミングや声かけを工夫しながら個々に週2~3回支援している。浴槽をまたぐことが難しくなると、シャワー浴で対応したり、状態に応じて併設デイサービスのリフト浴を利用して支援している。肌が弱い利用者は、使い慣れたボディソープやシャンプーを持ち込んでいた。冬場は柚子湯を楽しむこともある。着替えの準備をご自分で行う方が複数おられる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中は体操などに参加していただき活動量を増やすことにより安眠できるよう努めている。不眠時の傾聴や、希望があれば冬場などは湯たんぽを使用するなどして支援している。不安が生じない様見守りながら声かけを行っている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人のファイルに薬の成分表を綴り、服薬介助方法・注意点も職員会議で共有している。又、一人ひとり手渡しや介助にて服薬し、確実に服薬出来たか確認を行っている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 家事に関しては、その人に合ったお手伝いをさせていただいている。レクリエーションなどは体調を見ながら、楽しんでいただけるよう支援している。季節事の外出行事も行い、気分転換となっている。又、近所への買い物同行等の外出も行い気分転換が図れるよう努めている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) スーパーへの買い物や、近所への散歩等、そのときの天候や体調を見ながら行っている。その他にもいろいろな所へ外出している。家族さんとの外出や、デイサービスへも出かけられる様、ご家族様の協力を得ながら支援している。 (外部評価) 近くのスーパーに食材の買い出しに出かけたり、個別の買い物等も希望があれば職員が付き添い、出かけられるよう支援している。近くにあるお地藏様までよく散歩しており、利用者は自然と手を合わされるようだ。時には、車で地域の御大師様にお参りすることもある。市内の長谷寺でお花見したり、アジサイ園等にも出かけている。	職員は、戸外で椿の花を見た利用者が「もう、椿の花が咲く頃か」とつぶやくのを聞き、「季節を感じるができるよう外出を多くしたい」と話していた。又、現在、利用者全員が歩行可能なこともあり、管理者は「全員で出かける行事を増やしていきたい」と話していた。時にはご家族も一緒に楽しめるような機会を作ってみてはどうだろうか。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人様が希望される場合には、ご家族様にお小遣い程度の額をお願いしており、好きなときに使えるよう支援しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 毎月の近況報告と共に、入居者さまが書かれたお手紙を同封したりしております。電話は家族と相談し、可能な限り対応してもらっています。家族さんの了解の下、本人さんが希望すれば電話にてお話しできる様対応しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関周りには、季節が感じられるようにと季節の花を植えるよう心懸けています。施設内はバリアフリーで全体に手すりの設置も行っています。施設内や玄関の掃除は毎日行っている。トイレはいつでも行けるよう三カ所設置し『トイレ』とわかりやすい様、張り紙をしてある。各居室の担当者がおり、入居者の希望を聴くとともに環境整備に努めている。	
			(外部評価) 玄関前には、パンジーや金魚草等が彩りよく咲いたプランターを並べ、花瓶には水草を浮かべ金魚が泳いでいた。法人代表は、事業所内に生花を飾ることを心がけており、玄関を入ると菜の花や桃等の香りが漂っていた。天窓は、ブラインドで日差しを調節しており、居間には加湿器を2台設置して、湿度も調節されている。壁面には、利用者と一緒に作成した干支の羊や梅の花をモチーフにした作品が飾られていた。利用者は日中は居間で過ごす方が多く、調査訪問日の午後、手作りケーキのおやつをみなで楽しんだ後、ソファーに座ってテレビ時代劇を楽しんでいる利用者の様子がみられた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テーブルやソファーを置き、利用者同士で交流したり、一人でゆったり過ごすなどくつろげるようにしている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入所時には馴染みの家具などの持ち込みをお願いしているが、使い慣れた家具を使用したり本人が居心地の良いようレイアウトするなど思い通りの部屋作りができていの方もいれば、全て家族様の選んだ物だけの部屋もある。本人様が居心地の良い空間となるよう、引き続き工夫しなければならない。	
			(外部評価) 毎朝、職員が掃除を行い、個々の担当者が利用者と相談しながら整理整頓を行っている。カレンダーと時計は事業所で準備しており、カレンダーに補聴器の電池交換日を書き込んでいる方があった。又、全居室に温度計を設置して、職員が温度管理をしている。電気カミソリを充電しご自分で髭剃りする方や、化粧水等を持ち込み、入浴後にご自分でケアする方がいる。夕食後は、ホットカーペットを点け温かくしてテレビを楽しむ方や、ベッドに横になってテレビを見ながら寝る方もいる。妻の写真飾り、命日が近づくと写真の前にお供えする方には、命日の日が近くなると、職員がそっとお伝えしている。居室のほとんどのベッドに立ち上がりやすいように、可動式の手すりが取り付けられていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すり付きのバリアフリーの福祉住宅で安全に設計されており、トイレや居室などに目印をつけ場所が分かるようにしている。	